

## 第 1 2 回 資源循環型施設整備検討委員会 会議録

日時：平成 1 6 年 1 2 月 2 0 日（月）

午前 1 1 時から

場所：上田市役所 6 階大会議室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 報告事項
  - ・第 1 1 回委員会 会議録について・・・・・・・・・・・・・・・・（会議録）
- 4 協議事項
  - ( 1 ) 提言書の確認・・・・・・・・・・・・・・・・（提言書、資料 1 ）
  - ( 2 ) 情報公開等について
    - ・第 1 2 回委員会の会議録について
    - ・提言書について
- 5 そ の 他
- 6 閉 会
  - ・正副委員長あいさつ

出席委員（17人）

小林千洋 委員  
宮原則子 委員  
上沢忠人 委員  
金井春子 委員  
宮阪竹子 委員  
小平つや子 委員  
小山敏子 委員  
鍋島淑郎 委員  
土屋陽一 委員  
丸山正明 委員  
堀 高明 委員  
上原一二 委員  
田口邦勝 委員  
小山田秀士 委員  
関 喜男 委員  
柄澤 衛 委員  
片田俊雄 委員

欠席委員（7人）

若林政夫 委員  
横田 勇 委員  
松村治夫 委員  
片桐 久 委員  
瀧澤 功 委員  
小山 守 委員  
河西健男 委員

（説明のため出席した者）

上田地域広域連合事務局

市村良夫 事務局長  
岡田洋一 総務課長  
宮澤俊文 ごみ処理広域化推進室長  
山田晃一 ごみ処理広域化推進室 主事

開会（１１時）

事務局

皆様、年末のお忙しい中、御出席を賜り誠にありがとうございます。定刻になりましたので、第１２回資源循環型施設整備検討委員会を開催させていただきます。

本日の委員会が最終回ということで、会議終了後、広域連合長に提言書を提出することになりますので、よろしくお願いいたします。その後昼食をとっていただきまして、お帰りいただくということで、お願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

本日、御都合により欠席の御連絡をいただいている委員でございますけれども、住民代表で真田町の若林委員、学識者で横田委員、松村委員、議会代表で片桐委員、行政代表で瀧澤委員、小山委員、河西委員の７人が欠席ということでございます。

それでは、委員長にごあいさつをいただきまして、お手元にお配りしてある資料の次第に沿いまして、引き続き進行をお願いいたします。

委員長

それでは、ただ今、話のありましたとおり、今日は第１２回の資源循環型施設整備検討委員会ということで、たいへん委員の皆様方にはお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

行政の方も、１２月市議会、町村議会がそれぞれ開催されておりまして、その間をぬっての今日の委員会ということで、若干、御都合がつかなくなったり、あるいは委員の皆さんにおかれましては、年の瀬ということで色々な行事もありまして、なかなか全員が出席する、最後の委員会は是非そうしたかったんでありますけれども、日程の調整がつかなくて、たいへん申し訳なく思うわけではありますが、今日、いよいよ最後の委員会を開いて、これまで検討事項、いくつか検討してまいりましたが、まとまりましたので、広域連合長に提言書としてお渡しして、是非とも私どものこれまで進めてきた検討の内容を、これからの施設整備に活かしていただきたいと、こんなふうに思っているわけであります。

これまで本当に１２回という、回数多く、また期間的にも約２年にわたる会議でありましたけれども、それぞれ御都合をつけて御出席をいただき、そして積極的な御検討をいただいたことに感謝申し上げます。この後、若干の協議事項、報告事項がございますけれども、最後までひとつ、よろしくお願いいたします。本日は、ありがとうございます。

それでは、引き続き私の方で進行をさせていただきます。

はじめに、報告事項でございますが、第１１回、前回の委員会の会議録について、事務局で説明をお願いいたします。

事務局

それでは、第１１回の委員会の会議録ということで、お手元にお配りしてございます。去る１１月２６日に開催いたしました、委員会の会議録でございます。

内容をいつものとおり御確認いただきまして、お気づきの点などがございましたら、また事務局まで御連絡をいただければということで、改めてお読みいただいて、内容を御確認いただければと思います。

後日、ホームページへ掲載していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

ます。以上でございます。

#### 委員長

はい。ただ今の報告事項につきまして、何か御質問等ございましたら、お出しいただきたいと思いますが。

これは前回の会議録ということでございまして、内容的には公表されますので、それぞれ委員のお立場で確認して、何かございましたら事務局へ御連絡いただくということで、この件については以上といたします。

続きまして、次第の4でございますが、協議事項に入らせていただきます。

それでは、はじめに提言書の確認ということで、これにつきましても事務局で説明をお願いいたします。

#### 事務局

それでは、提言書を御確認いただきたいと思っております。前回の提言書のところで細かい文章的な部分を訂正してございます。細かい内容ではございますが、資料1ということでお手元にお配りしてございますけれども、訂正表を用意してございます。

提言書のほうを見ながら、この訂正事項を御覧いただきまして、訂正事項について御説明させていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

まず、表紙でございますけれども、提言書という言葉を中心を持ってきております。前回は委員会名が真ん中にあっただけでございますけれども、そのように直してあります。

それから、提言書の表紙の裏になりますが、「はじめに」という中で、中ほど11行目になりますが、ごみ処理方式の検討ということで、ごみ処理施設の処理方式というような言い方になっておりましたので、それをごみ処理方式ということで直してございます。それから日付は、今日の日付、12月20日ことで訂正してございます。

それから、ページでございますけれども、目次のページを訂正いたしまして、1ページずつ繰り上げてございます。ですから前回のものより1ページ繰り上げになっておりました、全体のページ数が少なくなっているということでございます。

それから2ページでございますが、上田地域広域連合と書いてありましたが、当広域連合ということで、統一させていただきました。

それから3ページでございますけれども、中ほどの表でございますが、平成24年のケース3の焼却処理量の予測数値でございますが、数字が違っておまして、38,290トンが正しい数字ということでございます。

それから、4ページの下に計算式がありますが、この計算式も一部抜け落ちていたところがあったため書き加えてございます。

それから4ページの注釈の部分ですが、月間受入日数というのを、計算のための根拠が必要だということで、書き加えてございます。

それから5ページの表でございますけれども、区切ってあるところが違っておりましたので、そこを訂正させていただきました。

それから7ページでございます。4行目の三成分と書いてありますが、それだけでは分かりにくいということで、括弧書きで水分・可燃分・灰分と加えさせていただきました。

それから、8ページでございますが、注釈の部分でございますけれども、できるだけ分かりやすくということで、低質ごみのところでは、生ごみが多く、水分の割合が高いというような表現を加えさせていただいております。基準ごみについては、標準的なごみ質としました。それから高質ごみについては、紙類やプラスチック類が多く、水分の割合が低い、カロリーが高いと、こういうような表現を加えさせていただいております。

それから9ページの表の下の部分に、限りなく一般廃棄物に近いという表現は削除いたしました。

それから9ページの注釈のところ、併せ産廃という言葉がありますが、表現が分かりにくいということで、注釈を加えさせていただき、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第10条中の「一般廃棄物とあわせて処理することができる産業廃棄物」と加えさせていただきました。

それから10ページの1行目に、9ページと同じ表現がございましたので、この部分は削除させていただきました。

それから10ページですが、表現を分かりやすく直してございます。内容は読んでいただいているとおりでございます。

それから11ページでございますが、民間委託の部分の状況を説明してございます。その後の部分につきましても、一部、訂正してございます。基本的に意味は変わりませんが、できるだけ分かりやすい表現に直したということでございます。

それから17ページでございますけれども、A3版の表でございますけれども、従来方式、ストーカ+灰溶融方式の全体評価の欄で、すべての項目となっていました、ほとんどの項目という言い回しに変えさせていただいております。

訂正した部分につきましては以上でございますが、よろしくお願いいたします。

#### 委員長

はい。ただ今、提言書の確認ということで、その後、気づいた点を直していただいたということで、説明いただきました。これまで何回か委員会の中で言われたようなことを、もう一度、見直していただいた、というところが多かったと思います。

今の説明につきまして、気づいた点ありましたら、御質問あるいは御意見お出しいただきたいと思います。よろしいでしょうか。(「はい。」という声あり)

はい、ありがとうございます。

ただ今の提言書の確認につきましては、最終的な提言書として、この後、広域連合長にこれをもって提言したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、2番目の協議事項であります。情報公開等についてということで掲げてありますので、第12回委員会の会議録の扱い、それから提言書について、それぞれ事務局で説明をお願いいたします。

#### 事務局

はい。それでは情報公開等についてということで、二つほど挙げさせていただいております。

まず、第12回の委員会の会議録についてということでございますが、本日の委員会の

会議録につきましては、年内を目途に委員の皆さんに会議録を郵送したいと思っております。修正等ございましたら、事務局に御連絡をいただければと思っております。

会議録のホームページへの掲載は、1月の中旬頃を予定しておりますので、よろしくお願いたします。

それからもう一点ですが、提言書についてということでございます。これにつきましては、最終的に提言書の冊子として作成したいと考えております。冊子は、でき次第、資料編も添付いたしまして、お送りしたいと考えとります。時期的には、2月の下旬を予定しております。2月の広域連合議会にも冊子をお配りしたいと考えております。

なお、2月議会終了後でございますが、提言書をホームページに掲載したいと考えております。

提言書につきましては、ホームページに掲載後、住民の皆さんからの御意見等もお受けしていきたいと考えておりますけれども、それらの意見につきましては、広域連合の広報誌がございますので、そこに掲載したり、対応を報告したりしていきたいと思っております。

御意見等の取り扱いについて、委員の皆さんからの御意見等があればお聞きしたいと思っておりますが、よろしくお願いたします。

以上でございます。

#### 委員長

はい。情報公開等についてということで、特にこの後、ホームページに掲載されたり、あるいは冊子としてお届けし、また住民の意見も受けていくということですが、ただ今の説明について、何か御質問、御意見があれば、どうぞお出しいただきたいと思っております。

特にございませんので、情報公開等については積極的に示して、是非、住民の中から、こうした問題を自らの問題として扱えるような、そんな空気が生まれればいいのかと、こんなふうに思いますので、よろしくどうぞお願いたします。

それでは、協議事項につきましては以上とさせていただきます。

次に次第の5、その他について事務局でありますか。

#### 事務局

特にありません。

#### 委員長

事務局からは、その他事項ありませんので、最後でございますので、委員の皆さんからその他事項ありましたらお願いします。

はい。特にございませんので、その他は以上といたします。

以上で閉会といたしますが、ここで私ども正副委員長、それぞれの立場で、委員の皆様これまで検討に御協力いただいたことに対しまして、あいさつを申し上げたいと思っております。

## 副委員長

それでは、副委員長として一言ごあいさつ申し上げます。

先ほど委員長からもありましたが、一昨年9月に第1回委員会が発足しまして、途中2回の現地視察を含めて、本日、ちょうど12回ということで、この後、広域連合長に対して、無事、提言書をお示しすることができるということについては、学識経験者の御三方をはじめ、それぞれのお立場で参加をいただいた委員の皆さんの、熱心な御討議の賜物と感謝申し上げます。

加えて、卓越した手腕で委員会をまとめられた委員長、それからスムーズな会議にかかせない資料の準備等で、裏方に徹した事務局の職員の方々に、併せて敬意を表する次第です。ありがとうございました。

これで、資源循環型施設の方式と規模については、一定の方向性をお示しすることができることになったわけですけれども、御存知のとおり規模の縮小に伴う、ごみの減量化の問題、それから何より施設の建設場所の問題、地域内の最終処分場の問題、リサイクルプラザの問題と、本当に問題が山積しているところでございます。

今後、議会の皆さんを含めて、地域の皆さんの英知を結集して、解決が図られるということを確認しております。

私は副委員長という立場で参加させていただきましたけれども、委員長の足を引っ張らないことと、それから委員の皆さんの御審議の妨げにならないことを念頭に、務めさせていただきました。

最後になりますけれども、職務をまっとうできましたのも、皆様のおかげと感謝を申し上げます。次第でございます。

どうもありがとうございました。

## 委員長

ただ今、副委員長にまとめていただきまして、そこに言葉は尽きておりますけれども、一言、私の方からもこの検討委員会を閉じるにあたりまして、委員の皆様方の多大な御協力と運営にあたってのアドバイスと言いますか、そうしたことを踏まえまして一言ごあいさつを申し上げたいと思います。

この資源循環型施設整備検討委員会という名称も、ごみ処理というマイナスイメージから、さらに今日的に循環型社会、環境問題を大切にしようと、こういう思いもありまして、冒頭、検討委員会の名称を変えようというところから入ったわけでありまして、

私も行政の方に携わっておりますけれども、なかなか実際には、こういう専門的な分野、分かりにくい点も多く、委員会を通じて勉強をしながら今日まで来たわけでありまして、

委員の皆さんにおかれましては、それぞれのお立場で委員としての御発言、本当に積極的に、なおかつ建設的、また前向きな御意見が多く、それを事務局、あるいはコンサルタントの方で要領良く取りまとめていただいたと、こんなことから今日、提言書をまとめることができまして、心から御礼申し上げたいと思います。たいへんありがとうございました。

これは、私の方で、この提言書、ただ単なるまとめではなくて、これからこの提言書がいよいよ生きていくものでなければならぬと思いますし、また、こうしたことは技術の

進歩、あるいは状況の変化にもよって、ここに留まることなく、さらに進化と言いますか、新しく要素を取り入れながら活用していくということが大事なということで、とにかく活かしていただくよう、今日の提言で広域連合長に申し上げたいと思います。

それから先ほど、お話ございましたように、建設用地問題、この委員会を運営している中で、たいへん大きな問題として出たわけであります。

この委員会にも、関係の住民の皆さんが傍聴に見えられて、発言を求められたと、こういう経過もございますが、これもやはり、みんなでごみ問題、あるいは環境問題等を真剣に考える上で、通らなければならない、そういう過程を経験したのではないかと、こんなふうに思っております。

検討した結果、当地域では、ストーカ+灰溶融方式ということで、今日、御提言申し上げまして、しかし、技術の進歩あるいは状況の変化もございますので、ガス化溶融方式等について、これまで、それらも比較の中で検討したわけでありますが、今後の技術開発の動向を見ながら検討対象とするということも付け加えて、提言申し上げることにしたわけであります。

これまでの長い期間の検討に、委員の皆様方、本当に時間を割き、また御都合をつけてこの委員会に御出席いただき、最後までそれぞれ任務をまっとうされたことに対しまして感謝を申し上げまして、最後のあいさつとさせていただきます。

本当にありがとうございました。

事務局

ありがとうございました。それでは、これで第12回の委員会を閉会させていただきます。

閉会（11時30分）